

【別添】新旧対照表

(1) 構造改革特別区域計画

新	旧
<p>4 構造改革特別区域の特性</p> <p>徳島市は、徳島県の東部に位置し、紀伊水道に流下する一級河川吉野川とその支流がつくり育てた三角州に発達した都市であり、総面積191.39km²、<u>人口265,340人(平成20年12月1日現在)</u>を有し、徳島県の県都として、産業をはじめ、政治、経済、文化、教育、情報など、さまざまな面において高い集積を誇っている。</p> <p>本市は、徳島が世界に誇る伝統芸能である阿波おどりをはじめ、四国霊場札所など地域色のある文化遺産や多くの寺社、染料として全国に知られた阿波藍及び伝統芸能としての人形浄瑠璃など有形無形の文化財が存在する。また、市の北部を流れる吉野川の流域に拓けた平野部は、地味肥沃で気候も温暖であるため、古くから農作物の栽培の適地となっている。</p> <p>一方で、本市の地場産業である木工業は、産地問屋の機能を持つ組立販売業者を中心に、木地業、杢張り業、塗装業などの分業による製造を行い、<u>小規模であってもそれぞれの得意分野をいかしながら連携することで産地全体が一つの企業体のように機能しており、鏡台、家具、仏壇などに代表される木製品の全国有数の産地となっている。</u>本市の木工業の特色である曲面を生かしたデザインや木製品に欠かすことのできない木目や材質の美しさを極限まで引き出す塗装技術は、全国でもトップクラスの技術を有している。</p> <p>しかし、近年は、長期にわたる景気の低迷、海外製品の国際競争力の向上や価格低下、国際化や情報通信技術の急速な発達など、地場産業を取り巻く環境が大きく変化している。</p> <p>特に、1990年代から始まったインターネットに代表されるわが国の情報技術(ICT)の急激な進歩により、<u>パソコンや情報携帯端末からインターネットを介して時間や場所を問わず情報のやり取りが容易になったことで、企業の経済活動は劇的に変化している。</u>ICTを利用した情報収集・発信、生産管理、商品開発、商取引などが広く普及し、ICTを利用すれば立地に関係なく少</p>	<p>4 構造改革特別区域の特性</p> <p>徳島市は、徳島県の東部に位置し、紀伊水道に流下する一級河川吉野川とその支流がつくり育てた三角州に発達した都市であり、総面積191.39km²、<u>人口266,287人(平成17年12月1日現在)</u>を有し、徳島県の県都として、産業をはじめ、政治、経済、文化、教育、情報など、さまざまな面において高い集積を誇っている。</p> <p>本市は、徳島が世界に誇る伝統芸能である阿波おどりをはじめ、四国霊場札所等地域色のある文化遺産や多くの寺社、染料として全国に知られた阿波藍及び伝統芸能としての人形浄瑠璃など有形無形の文化財が存在する。また、市の北部を流れる吉野川の流域に拓けた平野部は、地味肥沃で気候も温暖であるため、古くから農作物の栽培の適地となっている。</p> <p>一方で、本市の地場産業である木工業は、産地問屋の機能を持つ組立販売業者を中心に、木地業、杢張り業、塗装業などの分業による製造を行うことで鏡台、家具、仏壇等に代表される木製品の全国有数の産地となっている。本市の木工業の特色である曲面を生かしたデザインや木製品に欠かすことのできない木目や材質の美しさを極限まで引き出す塗装技術は、全国でもトップクラスの技術を有している。</p> <p>しかし、近年は、長期にわたる景気の低迷、海外製品の国際競争力の向上や価格低下、国際化や情報通信技術の急速な発達など、地場産業を取り巻く環境が大きく変化している。</p> <p><u>今後、地場産業が発展していくためには、市場・販路の拡大、デザイン力・商品開発力の強化、生産技術の高度化、情報通信技術の活用</u>に積極的に取り組む必要があり、<u>コンピュータの導入による生産管理やインターネットによる情報の収集・提供、CADや3次元コンピュータグラフィックス等での製品のデザイン開発を</u>図るなど、各企業でのIT化への取り組みが進められているところである。</p>

額の資本で全世界の企業などと取引することができるようになったことから、木工業をはじめとする本市の地場産業においても生活にその魅力や技術を取り入れてものづくりを行い、新しい需要を求め自ら発信するために、ICTを利用することが必要となってきた。

また、個人がインターネットなどを利用して様々な情報収集や発信を行い、また電子商取引の利用も一般的になるなど、ICTは個人の社会生活においても欠かせない技術となっている。

行政分野においても、ICTの利用によって環境が変化し、国は「いつでも、どこでも、誰もが情報通信ネットワークを利用して社会に参加できる」というユビキタス社会の実現を目指し、平成18年に「u-Japan構想」を策定し、ネットワーク整備やICTの利活用の高度化、利用環境の整備などを進めている。地方自治体においても、住民へのさまざまなサービスの提供や情報の共有化、双方向コミュニケーションの活性化、行政事務の効率化・高度化、地方分権への対応など、新しい時代に沿ったICTの活用に期待が寄せられており、そのためにも情報通信基盤の整備と必要なシステムの整備は不可欠である。

本市では、このような国における取り組みや時代背景から、平成19年に策定した「第4次徳島市総合計画」においては、「高度情報化の推進」という施策を位置づけ、行政情報化の推進に取り組み、情報の共有化とシステムの統合化・ネットワーク化を推進して情報の有効活用を図るとともに、市民が情報を活用する意識や能力を向上させるため、小中学校などでコンピュータ教育の機会を提供するほか、情報化社会に対応した新しい地域の先導者となるべき人材の育成を目指している。

また、本市の将来像である「心おどる水都・とくしま」の実現に向けて特に優先的に取り組むべき項目として定めたリーディングプロジェクトにおいては、「徳島をリードする経営者が育つ環境づくり」及び「徳島とともに歩む企業の集積」を掲げ、各種セミナーの開催による企業の経営基盤の強化やコミュニティビジネスなどの起業に対する支援の充実など、地域をリードする経営者が育つ環境づくりを進めて新たな産業の創出の促進を行うとともに、本市の未来をともに考え、ともに発展する企業を集積するため、平成20年度に「徳島市企業誘致推進プラン」を策定し、コールセンターやコンテンツ産業、LED産業など地域経済に波及効果のある成長性の高い企業の誘致に取り

このような企業のIT化の背景には、1990年代から始まったインターネットに代表されるわが国の情報技術（IT）の急激な進歩がある。

このIT化の急激な流れは企業活動はもちろんのこと、人々の暮らしやライフスタイルの豊かさを享受する手段として利用され、時間、空間、地域を越え、社会・経済などさまざまな分野での情報のネットワーク化を促進し、我々の社会生活や経済活動全般にわたる幅広い分野に大きな影響を与えている。平成12年に策定されたIT基本戦略において、「IT革命は産業革命に匹敵する」という歴史認識が示され、この急激な情報技術の発達に対応するため「e-Japan重点計画」等を策定し、行政の情報化及び公共分野におけるIT活用の推進を重点施策と位置付け、高速・超高速インターネットの普及の推進、教育の情報化・人材育成の強化、ネットワークコンテンツの充実、電子政府・電子自治体の着実な推進、国際的な取り組みの強化を図ってきた。地方公共団体においてもネット社会への参加は避けられないものであり、今後市民へのさまざまなサービスの提供、市民との情報の共有化、双方向コミュニケーションの活性化、行政事務の効率化・高度化、地方分権への対応など、新しい時代に沿ったITの活用期待が寄せられており、そのためにも情報通信基盤の整備と必要なシステムの整備は不可欠なものになってきている。

本市では、このような国における取り組みや時代背景もあり、全国的なITの発達による情報化社会に的確に対応するため、国や県の情報化に関する指針を踏まえ、「電子自治体」の構築を目指すための方策として、平成14年に「徳島市情報化基本計画」を策定している。

また、同年に策定した「第3次徳島市総合計画～とくしま・ふれ愛・ふるさとプラン～（後期基本計画）」では、「情報通信機能の整備」、「都市型成長産業の導入育成」という施策を位置づけ、本市における情報化の推進と地域経済に波及効果のある成長性の高い産業の集積を図っている。

「情報通信機能の整備」では、情報通信基盤の整備促進、行政情報化の推進に取り組み、事務処理の情報化とシステムの統合化・ネットワーク化を推進して情報の有効活用を図るとともに、情報を活用する意識や能力を向上させるため、地区公民館や小中学校などでコンピュータ教育の機会を提供するほか、情報化社会に対応した新しい地域の先導者となるべき人材の育成を目指している。

組むなど、地域の活性化を図っているところである。

5 構造改革特別区域計画の意義

今後、地域の活性化を図っていくためには、整備された情報通信基盤を使い、地域や企業が情報をいかに活用していくかが重要であり、その環境づくりとしてユビキタス社会の実現を目指して市民生活に密着した各種情報システムの整備やこれらを推進する行政基盤づくりを行うとともに、高度情報化による環境変化に対応し、情報を効果的に利用できる人材を育成する必要がある。そのため、この特例措置を活用し、今回の構造改革特別区域計画の特定事業である修了者に対する国家試験の午前試験を免除する講座の開設・実施を行い、受験者の国家試験における負担を軽減し、基本情報技術者試験に合格する学生を増加させることで、本市におけるICT人材を育成する。

「都市型成長産業の導入育成」では、ソフトウェア業や情報処理サービス業など地域経済への波及効果の高い産業を導入育成するために、税制面での優遇措置や人材雇用に対する奨励金制度、あるいは用地取得や事業用施設の建設に対する各種融資制度の創設など、産業団地への企業誘致策に取り組み、また、ベンチャー風土の醸成や人材育成を図り、ベンチャー企業など新たな産業の創出の促進している。

特に市の郊外には、地域産業の高度化、研究・技術開発を中心とする企業の集積を目指し、情報通信企業、ソフトウェア開発関連企業、デザイン・エンジニアリング業などの都市型成長産業の誘致・育成の受け皿として、「プレインズパーク徳島」や「ハイテクランド徳島」の産業団地の整備がされており、独自の情報技術を生かし、特定市場で高いシェアを有する情報通信関連企業が立地している。

このように、市郊外に立地している情報通信関連企業はもちろんのこと、本市の地場産業である木工業関連企業においても情報化を積極的に推進していくために、情報化社会の礎ともいえる多数の若年層のIT人材を育成・輩出することが求められている。さらには、IT人材の雇用の創出・拡大による地域産業や経済の活性化を図っていくものである。

5 構造改革特別区域計画の意義

現在、地方公共団体や企業だけでなく、学校や家庭など我々の暮らしの中におけるパソコンや携帯電話などの情報通信機器の普及やインターネットの接続が可能となる環境の整備と接続速度の高速化が浸透している状況を見ると、我が国の情報化は着実に進んできている。

今後、地域の活性化を図っていくためには、地域内でだれもが、さまざまな情報を自由に収集できる仕組みを構築する必要があり、このためには、情報通信機能の整備と適切な行政情報の提供が不可欠となっている。また、情報化の推進には、「情報の占有から共有」といった意識の醸成や市民一人ひとりの情報活用能力の向上が不可欠であり、これらに対応した人材の育成や情報を活用できる環境を創造していく必要がある。

また、この特例措置を活用し、今回の構造改革特別区域計画の特定事業である修了者に対する国家試験の午前試験を免除する講座の開設・実施を行うことで、受験者の国家試験における負担が軽減されるため、基本情報技術者試

6 構造改革特別区域計画の目標

現在、徳島県における本試験の合格率は、全国平均とほぼ同程度の水準で推移しているが、本特例措置を活用し、基本情報技術者試験受験者の負担を軽減することで、本市からの受験者数を増加させるとともに、合格率の向上を図り、本市における高度なICT技術を持った人材をより多く確保する。それらの人材が活躍し、本市の地域や産業の活性化に貢献することで、将来像である「心おどる水都・とくしま」の実現を目指すものである。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

今回の特例措置の実施により、本市や近隣の市町村から当該特定事業を実施する専門学校への入学を希望する学生が増えるだけでなく、国家試験合格者が増えることで高度なICT技術を持つ数多くの若年ICT人材の輩出を可能になり、学生のキャリアアップや将来の就職活動に対する支援が促進される。これらのICT人材は、企業や地域のさまざまな場面で活躍することが期待

験に合格する学生の増加が予想され、本市におけるIT人材が増加するとともに、専門学校で学ぶ若年層の就業支援に寄与するものと期待できる。

また、IT関連企業だけでなく本市の地場産業である木工業関連企業においても、IT人材を雇用することで事務処理の合理化や生産管理、デザイン力の向上など、企業の高度情報化の推進が図られ、地域産業や経済の活性化に貢献するものである。

6 構造改革特別区域計画の目標

この構造改革特別区域計画の特例措置である「基本情報技術者試験」の午前試験を免除することによって、受験者の負担が軽減されると、午後に実施される実務分野の試験に集中することができるため、当該試験を受験しようとする希望者及び資格取得者数（合格率）の増加が期待される。

現在、徳島県における本試験の合格率は、全国平均とほぼ同程度の水準で推移しているが、今後、この特例措置を活用することにより、さらなる合格率の向上を目指すものである。

さらに、基本情報技術者試験の受験に有利な環境が整うことによって、徳島市内だけでなく近隣市町村の広範囲の学生が構造改革特別区域計画の特定事業の実施主体となる専門学校への入学を希望し、本市において、高度なITを持つ多くの若年IT人材の輩出が可能になるだけでなく、学生のキャリアアップや将来の就職活動に対する支援が促進されることになる。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

今後、地域産業の振興を推進していくためには、次代を担う創造性豊かな人材を育成するとともに、地域経済に波及効果のある成長性の高い産業の集積を図る必要がある。

今回の特例措置の実施により、本市や近隣の市町村から当該特定事業を実施する専門学校への入学を希望する学生が増えるだけでなく、国家試験合格者が増えることで数多くの高度なITを持つ若年IT人材が輩出されることとなる。

これらのIT人材は、地域情報化の推進のリーダー的な役割を担い、企業や地域のさまざまな場面で活躍することが期待できる。

され、こうした人材を確保することにより、地域においては、情報化の推進やコミュニティビジネスなどの新たなビジネスモデルの創出にも繋がると考えられる。

また、産業においては、本市への新たな企業の立地誘導が進むとともに、本市の地場産業においては、インターネットを介した情報の収集・提供や電子商取引の利用環境の整備、CADや3次元コンピュータグラフィックスなどでの製品の開発など、ICTを効果的に利用できる人材を確保することで、企業同士の連携をより深め、それぞれの個性を生かした事業展開が容易になり、市場・販路の拡大、デザイン力・商品開発力の強化、生産技術の高度化に積極的に取り組むことができる。

ICT人材を活用した取組により地域や産業の活性化が図られ、本市の将来像である「心おどる水都・とくしま」の実現に寄与するような効果が期待される。

8 特定事業の名称

1132 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業
(1144、1146)

9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

徳島市では、特定事業に関連する事業として、次のような事業を推進している。

(1) 高度情報化の推進

・地域情報化推進事業：地域社会における高度情報化施策として、市民への情報提供の利便性向上のため、「徳島市ポータルサイト」の機能充実に取り組んでいる。

・電子自治体共通基盤整備など事業：徳島県及び県内全市町村が共同で申請届出などの手続を電子化し、電子申請の共同受付システムの構築を行っている。また、徳島市独自に電子入札や電子申請を構築し、時間・場所の制約を受けることなく申請・届出などの受付を行っている。

さらに、木工業を中心とする地元企業がこのIT人材を確保することは、各企業における高度情報化の推進が図られることになり、事務処理のスピードアップや生産技術力の向上、新たな事業展開による企業競争力の維持・発展が期待され、地域経済の活性化に繋がるものである。

また、本市の施策にもある都市型成長産業の導入育成という面においても、地域にIT人材が確保されていれば、IT関連企業やITを必要とする企業等にとっては、人材確保が容易となるため、企業の誘致に関しても有利となる。

8 特定事業の名称

1132 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業
(1144、1146)

9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

徳島市では、特定事業に関連する事業等として、次のような情報化に関する施策・事業を推進している。

(1) 情報通信機能の整備、効果的な行政運営（情報通信基盤の整備、行政情報化の推進）

・地域情報化推進事業

地域社会における高度情報化施策として、市民への情報提供の利便性向上のため、「徳島市ホームページ」の機能充実に取り組んでいる。

・ネットワーク整備事業

市本庁舎及び外部施設におけるネットワーク環境のインフラ整備を実施し、行政事務の効率化と迅速化を図っている。

<p><u>・統合型地図情報システムの構築：市民に対する各種行政サービスの円滑な履行を図るため、市の各課で作成する地図情報の統合を検討している。</u></p> <p>(2) <u>徳島をリードする経営者が育つ環境づくり</u></p> <p><u>・コミュニティビジネス創出支援事業：コミュニティビジネスの創業にあたり、入門セミナーなどを開催し、スタートアップ期の支援を行っている。</u></p> <p>(3) <u>徳島とともに歩む企業の集積</u></p> <p><u>・コールセンター等立地促進事業：徳島県と協調し、人材雇用効果の高いコールセンターやデータセンターなどの県外からの誘致に対し優遇措置を図ることで、本市への情報通信関連企業の導入を推進している。</u></p> <p><u>・ハイテクランド徳島進出支援金貸付：徳島市が整備した産業団地である「ハイテクランド徳島」へ進出する企業へ、用地取得や施設整備のための奨励措置として、資金の貸付制度を講じている。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>電子入札システム開発事業</u> <u>公共工事の入札時における入札の透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保などを図っている。</u> ・ <u>統合型地図情報システムの構築</u> <u>市民に対する各種行政サービスの円滑な履行を図るため、市の各課で作成する地図情報の統合を検討している。</u> <p>(2) <u>都市型成長産業の導入育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>コールセンター等立地促進事業</u> <u>徳島県と協調し、人材雇用効果の高いコールセンターやデータセンター等を県外からの誘致に対し優遇措置を図ることで、本市への情報通信関連企業の導入を推進している。</u> ・ <u>ハイテクランド徳島進出支援資金貸付</u> <u>徳島市が整備した産業団地である「ハイテクランド徳島」へ進出する企業へ、用地取得や施設整備のための奨励措置として、資金の貸付制度を講じている。</u> ・ <u>ビジネススクール事業</u> <u>徳島市の地場産業である木工業をはじめとした中小企業を対象に、経営者や従業員のIT・経営・インテリア等の分野における情報収集能力や知識・技術の向上を図り、それぞれの企業活動に活用している。</u>
---	---

(2) 別紙

新	旧																																																					
<p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者</p> <p>(1) 講座の開設者 学校法人 穴吹学園 <u>専門学校穴吹情報公務員カレッジ</u> (所在地：徳島市徳島町2-57)</p> <p>(2) 修了認定に係る試験の提供者 株式会社サーティファイ (所在地：東京都中央区京橋3-3-14 京橋AKビル)</p> <p>4 特定事業の内容</p> <p>(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目 資格名称：情報処理技術者能力認定試験（2級） 試験科目：情報処理技術者能力認定試験（2級第1部） 当該民間資格を取得するための試験の試験項目：表に示すとおり</p> <table border="1" data-bbox="224 821 1093 1436"> <thead> <tr> <th colspan="2">試験項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">テクノロジー系</td> <td>1 基礎理論</td> </tr> <tr> <td>1 基礎理論</td> </tr> <tr> <td>基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など</td> </tr> <tr> <td>確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など</td> </tr> <tr> <td>符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など</td> </tr> <tr> <td>伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）</td> </tr> <tr> <td>2 アルゴリズムとプログラミング</td> </tr> <tr> <td>データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど）</td> </tr> <tr> <td>流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など）</td> </tr> <tr> <td>プログラム構造、データ型など</td> </tr> <tr> <td>プログラム言語（種類と特徴など）</td> </tr> </tbody> </table>	試験項目		テクノロジー系	1 基礎理論	1 基礎理論	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など	確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など	符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など	伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）	2 アルゴリズムとプログラミング	データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど）	流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など）	プログラム構造、データ型など	プログラム言語（種類と特徴など）	<p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者</p> <p>(1) 講座の開設者 学校法人 穴吹学園 <u>専門学校穴吹カレッジ</u> (所在地：徳島市徳島町2-20)</p> <p>(2) 修了認定に係る試験の提供者 株式会社サーティファイ (所在地：東京都中央区京橋3-3-14 京橋AKビル)</p> <p>4 特定事業の内容</p> <p>(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目 資格名称：情報処理技術者能力認定試験（2級） 試験科目：情報処理技術者能力認定試験（2級第1部） 当該民間資格を取得するための試験の試験項目：表に示すとおり</p> <table border="1" data-bbox="1227 821 2083 1412"> <thead> <tr> <th colspan="2">サーティファイ(情報処理技術者能力認定試験)試験項目</th> <th>2級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1 情報の基礎理論</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>基礎変換、データ表現、演算と精度、理論演算、符号理論</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>計算量と情報量</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="3">2 データ情報とアルゴリズム</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>データ構造、アルゴリズムの基礎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>流れ図、決定表、BN記法、ポーランド記法</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="3">3 ハードウェア</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>半導体と集積回路</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>プロセッサ、動作原理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>メモリ、記憶媒体、補助記憶装置</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	サーティファイ(情報処理技術者能力認定試験)試験項目		2級	1 情報の基礎理論			-	基礎変換、データ表現、演算と精度、理論演算、符号理論	○	-	状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語	○	-	計算量と情報量	○	2 データ情報とアルゴリズム			-	データ構造、アルゴリズムの基礎	○	-	流れ図、決定表、BN記法、ポーランド記法	○	-	各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率	○	3 ハードウェア			-	半導体と集積回路	○	-	プロセッサ、動作原理	○	-	メモリ、記憶媒体、補助記憶装置	○
試験項目																																																						
テクノロジー系	1 基礎理論																																																					
	1 基礎理論																																																					
	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など																																																					
	確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など																																																					
	符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など																																																					
	伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）																																																					
	2 アルゴリズムとプログラミング																																																					
	データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど）																																																					
	流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など）																																																					
	プログラム構造、データ型など																																																					
プログラム言語（種類と特徴など）																																																						
サーティファイ(情報処理技術者能力認定試験)試験項目		2級																																																				
1 情報の基礎理論																																																						
-	基礎変換、データ表現、演算と精度、理論演算、符号理論	○																																																				
-	状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語	○																																																				
-	計算量と情報量	○																																																				
2 データ情報とアルゴリズム																																																						
-	データ構造、アルゴリズムの基礎	○																																																				
-	流れ図、決定表、BN記法、ポーランド記法	○																																																				
-	各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率	○																																																				
3 ハードウェア																																																						
-	半導体と集積回路	○																																																				
-	プロセッサ、動作原理	○																																																				
-	メモリ、記憶媒体、補助記憶装置	○																																																				

	<p>2 コンピュータシステム</p> <p>3 コンピュータ構成要素</p> <p>コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど</p> <p>主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど</p> <p>補助記憶装置や媒体（種類と特徴、性能計算など）</p> <p>入出力インタフェース（種類と特徴など）</p> <p>入出力装置（種類と特徴、性能計算など）</p> <p>4 システム構成要素</p> <p>システムの利用形態、システム構成など</p> <p>クライアントサーバシステム、RAIDなど</p> <p>システムの性能、信頼性、経済性など</p> <p>5 ソフトウェア</p> <p>オペレーティングシステム（タスク管理、記憶管理など）</p> <p>ミドルウェア（API、ライブラリ、シェルなど）</p> <p>ファイルシステム（ディレクトリ、ファイル編成など）</p> <p>言語処理ツール（コンパイラ、リンカ、ローダなど）</p> <p>CASE、エミュレータ、シミュレータなど</p> <p>6 ハードウェア</p> <p>基本論理回路、組合せ回路など</p> <p>3 技術要素</p> <p>7 ヒューマンインタフェース</p> <p>GUI、帳票設計、画面設計、コード設計など</p> <p>8 マルチメディア</p> <p>オーサリングツール、JPEG、MPEGなど</p> <p>9 データベース</p> <p>データベースのモデル、DBMSなど</p> <p>データ分析、データベースの設計、データの正規化など</p> <p>データ操作、SQLなど</p>	<p>- 入出力インタフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体 ○</p> <p>- コンピュータの種類と特徴 ○</p> <p>4 基本ソフトウェア</p> <p>- OSの種類と構成 ○</p> <p>- プロセス管理、割込み制御 ○</p> <p>- 主記憶管理、仮想記憶 ○</p> <p>- 入出力制御、ジョブ管理 ○</p> <p>- ファイル管理、障害管理 ○</p> <p>- ヒューマンインタフェース、日本語処理 ○</p> <p>- ミドルウェア ○</p> <p>5 システム構成と方式</p> <p>- システム構成方式、処理形態 ○</p> <p>- システム性能、信頼性 ○</p> <p>- 応用システム ○</p> <p>6 システム開発と運用</p> <p>- プログラム構造、制御構造 ○</p> <p>- プログラム言語、言語処理系 ○</p> <p>- EUC、EUD、ソフトウェアの利用 ○</p> <p>- 開発手法、設計手法、テスト手法 ○</p> <p>- 開発環境と開発管理 ○</p> <p>- システムの環境整備、運用管理 ○</p> <p>- システムの保守 ○</p> <p>7 ネットワーク技術</p> <p>- プロトコルと伝送制御 ○</p> <p>- 符号化と伝送制御 ○</p> <p>- LANとインターネット ○</p> <p>- 電気通信サービス ○</p> <p>- ネットワーク性能 ○</p> <p>- 伝送媒体、通信装置 ○</p> <p>- ネットワークソフト ○</p> <p>8 データベース技術</p>
--	--	--

ストラテジ系		コンピュータの運用・管理、システム移行など			
	7	システム戦略			
		17	システム戦略		
			業務プロセス（業務改善、BPR、SFAなど）		
	8	経営戦略			
		19	経営戦略マネジメント		
			経営戦略手法（コアコンピタンス、PPMなど）		
			マーケティング理論、マーケティング手法など		
			経営管理システム（CRM、SCM、ERPなど）		
		21	ビジネスインダストリ		
			ビジネスシステム（POSシステム、EOSなど）		
			エンジニアリングシステム（CAD、CAM、MRPなど）		
			e-ビジネス（EC、EDI、RFIDなど）		
	9	企業と法務			
		22	企業活動		
			経営組織（事業部制組織、CIOなど）		
			ヒューマンリソース（OJT、CDP、MBOなど）		
			経営管理と問題発見技法（PDCA、KJ法など）		
			OR・IE（線形計画法、品質管理、在庫問題など）		
			会計・財務（財務会計、管理会計、リースなど）		
		23	法務		
			知的財産権（著作権、産業財産権など）		
			ガイドライン（ソフトウェア管理ガイドラインなど）		
		標準化団体（JIS、ISO、IEEEなど）			
		各種コード（文字コード、QRコード、ISBNコードなど）			
		補助単位（T、G、M、k、ミリ、マイクロ、ナノ、ピコ）			
	12	表現能力			
	-	発表技術			
	-	文章の書き方		-	
	-	マルチメディアの利用			